



2025年2月14日

各位

会社名: 株式会社 スタメン
(コード: 4019 東証グロース)
代表者名: 代表取締役社長執行役員 CEO 大西 泰平
問合せ先: IR 担当
(ir@stmn.co.jp)

通期連結業績予想と実績との差異、個別業績の前期実績との差異及び 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2024年11月14日に公表した2024年12月期の連結業績予想と実績との差異、及び個別業績の前期実績との差異についてお知らせいたします。

あわせて、当社は、本日開催の取締役会において、2024年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績との差異について

(1) 2024年12月期 通期連結業績予想と実績との差異 (2024年1月1日～2024年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|--------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 2,600 | 百万円 100 | 百万円 100 | 百万円 50 | 円 銭 5.72 |
| 今回実績 (B) | 2,692 | 224 | 224 | 137 | 15.77 |
| 増減額 (B-A) | 92 | 124 | 124 | 87 | — |
| 増減率 (%) | 3.5% | 124.0% | 124.0% | 174.0% | — |
| (ご参考) 前期実績 (2023年12月期) | 1,879 | 164 | 162 | 125 | 14.63 |

(2) 差異の理由

主力サービスであるエンゲージメントプラットフォーム「TUNAG (ツナグ)」において、利用企業数及び平均 MRR が堅調に成長し、売上が好調に推移した結果、前回予想を上回りました。加えて、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上の上昇分に加えて、販管費の投資対効果の見直し等、コストの最適化を行なったことで、前回予想を上回りました。

2. 個別業績の前期実績との差異について

(1) 2024年12月期 個別業績の前期実績との差異 (2024年1月1日～2024年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前期実績 a (2023年12月期) | 百万円 1,683 | 百万円 195 | 百万円 194 | 百万円 125 | 円 銭 14.62 |
| 当期実績 b (2024年12月期) | 2,368 | 273 | 275 | 175 | 20.17 |
| 増減額 b-a | 685 | 78 | 81 | 50 | — |
| 増減率 (%) | 40.7 | 40.0 | 41.8 | 40.0 | — |

(2) 差異の理由

広告宣伝及び展示会出展等のマーケティング活動や、金融機関等との提携による販路拡大に注力した結果、新規顧客導入が順調に伸長し、主力サービスである「TUNAG」の利用企業数及び平均MRRが堅調に成長したことから、売上高、営業利益、経常利益が前期実績値を上回る結果となりました。

3. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2024年11月14日公表) | 前期実績 (2023年12月期) |
|----------|-------------|----------------------------|---------------------|
| 基準日 | 2024年12月31日 | 2024年12月31日 | 2023年12月31日 |
| 1株当たり配当金 | 4.00円 | 0.00円 | 4.00円 |
| 配当金の総額 | 34,979千円 | — | 34,683千円 |
| 効力発生日 | 2025年3月10日 | — | 2024年3月11日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

(2) 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要指標の1つとして位置付けており、将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的・継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。その方針のもと、配当性向30%を中長期的な目標として、利益還元を継続的に実施できるよう努めております。

当事業年度の配当につきましては、当事業年度の業績及び今後の経営環境、将来のための成長投資等を総合的に判断し、1株当たり4円としました。

なお、内部留保資金につきましては、今後の事業展開や経営環境の変化に対応するための、技術・採用・広告宣伝・新規事業への投資等に有効活用していきたいと考えております。

(ご参考) 年間配当の内訳

| 基準日 | 1株当たり配当金 (円) | | |
|----------------|--------------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年12月期 | — | 4.00円 | 4.00円 |
| 前期 (2023年12月期) | — | 4.00円 | 4.00円 |

以上